



~笑顔あふれる
育ちのひろば~
令和4(2022)年10月4日
社会福祉法人 見真会
明光保育園

清々しい秋晴れが続いて、ようやく秋を感じられる日々となっていました。

秋は、恵みの秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋など、人々の活動が活発になる季節です。子ども達にとっても、4月から心も体も大きく成長したことを実感し、次のステップに向けて、一人ひとりが充実した日々を過ごしていくことが大切な季節です。

子どもたちは、それぞれの成長や発達に応じて、泣いたり笑ったり、個性を発揮したり、白組(5歳児)では相手を思いやり仲間と協力してやり遂げたことを喜ぶことができるようになるなど、その成長ぶりには目を見張るものがあります。

10月8日(土)には、「**こころをひとつに～ちからをあわせてえいえいおー！！～**」をテーマに幼児3クラスで運動会を開催します。保護者の方々には、お子さんの活躍をご覧いただき、思い切り力を発揮できたことを認めてあげて、誉めていただくようお願いします。

なお、広島県内では、新型コロナウイルス感染症は減少傾向にありますが、海田町内では行事などを通して、児童の感染が広がったことなどから、今年度も感染症防止を図るため、規模を縮小して開催することについてご理解をいただきますようお願いします。

また、乳児3クラスについては、園内で幼児たちを観客として「運動会ごっこ」を実施し、その内容は映像などで保護者の方にお知らせしたいと思っています。

10月は、職員による専門支援に加えて、幼児クラスでは人形劇の鑑賞や人権学習、秋の遠足、ハロウィン、お菓子作り、絵画表現・体操のひろば、語学支援なども予定しています。

これから、3月の卒園(就学)、進級に向け「**子どもたちの最善の利益を保障**」するため、園児一人ひとりの個性や成長に寄り添い、大切な存在として尊重しながら、「**笑顔あふれる育ちのひろば**」として、職員の資質を高め、チーム全体として、保護者や地域の方々の信頼と期待に応えていく保育を進めています。

☆新型コロナウイルス感染症が終息☆

園内の新型コロナウイルスの感染は、6月1日(水)に感染者が確認されて以降、園内のクラスターの発生を経て、多くの園児、職員の感染が続いていましたが、10月2日(日)をもって、すべての感染者の療養期間が終了しました。この間(124日)、保護者の方々には、感染への心配や療養などにより大きなご負担とご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

(延べ感染者数: 54人(園児: 42人、職員: 12人))

当園では、乳幼児が集団で生活し、園内の感染のリスクが非常に高いことから、現在も感染者の10日、濃厚接触者の7日の療養(待機)期間を継続しています。

また、冬季に向けてはインフルエンザやノロウイルスの感染も心配されることから、園では職員を配置するなどして感染防止対策の徹底を図っています。

各家庭においても引き続いて感染防止対策と体調不良時の登園自粛についてご協力をお願いします。

保護者会から鉄棒、マットの寄附を
いただき運動会でお披露目します。



4日(火)の
予行演習です。

高山保育士が
産休に入りました。
園児みんな
でお腹を優しく
触って元気な
赤ちゃんの誕生
を願いました。



目の愛護デー

10月10日は、目の愛護デーです。子どもの視力機能は、6歳頃に完成すると言われています。自然の中で十分に遊び、美しい景色をたくさん見せることで視力を育てましょう。

【子どもの目の病気のサイン】

- ①顔を傾けている
 - ②片眼を閉じている
 - ③まぶしがる
 - ④目を細めてみる
 - ⑤いつも涙ぐんでいる
 - ⑥まぶたが下がっている
- これらの異常に気付いたら早めに眼科を受診させてください。

【目に良い食べ物】

- ビタミンA(レバ・かぼちゃ・ほうれん草など)
- アントシアニン(ブルーベリー・カシスなど)
- ビタミンC(ブロッコリー・じゃが芋・果物など)

読書週間は、10月27日～11月9日

-標語「この一冊に、ありがとう」-

絵本は、心を健康にしてくれます。保護者が読み聞かせることで、たくさんの愛情が伝わり、子ども達の精神が安定していきます。多くの本に出会い、本の楽しさを知っていくことは、理解力や読解力、集中力、創造力が自然に身に付いて、学習にも役立ってきます。

毎年10月27日～11月9日は、読書週間です。

暑い夏が過ぎて、涼しい風が吹く秋になりました。子どもたちがたくさんの絵本に出会えると良いですね。

【秋にちなんだ絵本の紹介】

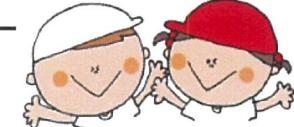
- ・あかいはっぱ きいろいはっぱ
- ・おしばきょうそう
- ・ポポくんのかぼちゃカレー
- ・あきのやさい あきわっしょい！
- ・ねずみのいもほり



秋は、**スポーツの秋**でもあります！

スポーツや外遊びは、子どもが心身ともに健康に育っていくことにつながります。

①よく寝て、②脳が育ち、③豊かな感性が育つと言われています。秋晴れの下、ご家族でスポーツ、外遊びを楽しみましょう！



運動会の開催について

日時: 10月8日(土) 9:30～12:00

場所: 一貫田公園(海田町中店)

対象: 白組(5歳児)、青組(4歳児)、黄組(3歳児)

10月の
予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|----------------------|---------------------------|--------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 10月2日 | 3 | 4 運動会 予行演習 (白・青・黄組) | 5 | 6 語学支援 (青・黄・桃組) | 7 | 8 運動会 (白・青・黄組) 寒露 |
| 9 休日保育 | 10 スポーツの日 休日保育 | 11 杉の子人形劇 (白・青・黄・桃組) | 12 | 13 語学支援 (白・青・黄組) | 14 | 15 幼児組はお弁当を忘れずに! 乳児組は給食があります。 |
| 16 休日保育 | 17 | 18 体操のひろば (白・桃組) | 19 避難訓練 (火災) | 20 語学支援 就学時健康診断 (海田・海田西小) | 21 秋の遠足 (白・青・黄組) | 22 |
| 23 休日保育 | 24 身体測定週間 | 25 絵画表現の ひろば(黄組) | 26 体操のひろば (青・黄組) 語学支援 | 27 人権学習 (白・青・黄組) | 28 誕生日会 ハロウィン お菓子作り (白・青組) | 29 |
| 30 休日保育 | 31 | 11月1日 | 2 就学時健康診断 (海田東小) | 3 語学支援 | 4 茶道のひろば (白組) | 5 11月 |

10月の園だより担当 保育士: 蒲生、森戸
栄養士: 佐々木 編集: 事務長 白木

電話 (082) 823-0366 FAX 823-0371
アドレス info@kenshin-meikou.jp

担任からのクラス紹介！

【ひよこ組 0歳児 9人】担任:森戸

安全な環境の中で、月齢に応じて、すり這いから、ハイハイ、つかまり立ち、一人歩きと成長しています。保育士の膝から離れて、好きな遊びをみつけては、部屋の中を動き回って楽しんでいます。

ミルク、離乳食から、つかみ食べ、フォークやスプーンを使った食事へと自分から食べようとする意欲が育ってきています。排泄も素振りで知らせたり、取替えをすると笑顔で気持ちよさを伝えてくれます。

基礎的な体力が身に付くよう、一人ひとりの発達を見極め、違う、歩く、登る、下りる、ぐぐるなどの運動を進めます。

季節の絵本の読み聞かせや歌と一緒に歌いながら、保育士との信頼関係や園児同士のふれあいを育んでいきます。

【白組 5歳児 19人】担任:本岡



当番やディキャンプ、運動会の練習、日々の活動をとおして自分の役割を理解し責任を持って最後までやり遂げる経験を重ねています。この中で自己肯定感が育まれ、勇気と自信につながっています。また、チームで話し合い、互いの考えを共有し、共通の目的に向かって、工夫、協力したり、助け合って一緒に取組む楽しさを知り、協調性も育まれています。

ディキャンプや運動会に向けて育んできた「団結力」を大切にしながら、引き続いてチームでの活動をとおして、目的に向かって自分の力を発揮しながら、みんなで協力して成し遂げていく力や、見通しを持って、自分の事は自分で考えて行動できる力が身に付いていくよう支援していきます。

☆8分野の専門支援でチーム保育を推進☆

②創作・造形支援担当:奥崎 主任

絵の具を使った製作を中心に色々な素材を取り入れ、描いたり、作ったりする楽しさを感じられる活動をしています。

運動会に向けては“自分の万国旗”を作っています。白組は自分の国のイメージを考えて描き、青組、黄組は自分の顔を描き、国旗の周りを好きな色で塗り分けました。運動会で飾るとどんな風になるかなと、楽しみに話し合っています。

⑥食育・健康支援担当:酒井、佐々木栄養士 今田 もも組担任

クラスで栽培した夏野菜を給食で味わうことができました。収穫した野菜を給食室に持つて来る姿は、いつも誇らしげでした。旬の野菜から季節を感じたり、食べること、作ることの楽しさ、大切さが伝わるよう支援していきます。

新型コロナウイルスの感染は落ち着いてきましたが、インフルエンザやノロウイルスの感染などに備えて油断せず、手洗い、うがいの大切さを伝え、実践して感染防止に努めます。

【赤組 1歳児 16人】担任:金井、副担任:倉留

4月には、保護者を慕って泣いていた子どもたちも笑顔で登園できるようになりました。手洗い、排せつ、衣服の着脱、給食、遊びと園の生活リズムも身に付いています。

食事前には、自分から手洗い、ちゃんと自分の席に座って、みんなで「いただきます」をして食べています。衣服の着脱も自分でしようとすると、色々な場面で自分でやりたいが育ってきて成長を感じています。進級に向けて自分でしようとすると気持ちを大切に見守り、うまくできた時には、一緒に喜び合いながら自信を育み、次のチャレンジにつなげていきます。秋には户外遊びや散歩を通して、五感で季節を感じたり、見つけたり、体を動かして、一緒に楽しみながら心とからだの成長を支援していきます。

【青組 4歳児 18人】担任:細川



4月から身の回りの整理整頓や食事などの基本的な生活の仕方を丁寧に伝え、自分で力が身に付くように繰り返して取組みました。自分から進んでやったり、保育士が声を掛けると「みんなー〇〇するんだって！」と園児同士で教え合ったりと、クラスのみんなで行動できるようになっています。

運動では、失敗をおそれて挑戦できなかった子どもたちも、運動のひろばや様々な運動遊びの中で「できなくても楽しい」「練習したらできた」という体験から少しずつ積極性や自信が育まれ、やってみようとする姿が多くの場面で見られ、創作や音楽、知育など様々な活動の中でも活かしていきます。

運動会では、みんなの力の結集が必要なバルーン競技に取組んでいます。クラスのみんなが協力することでチームワークが育まれています。活動の中で協力することの大切さを実感し、園児同士のつながりが深まるよう支援していきます。

①知識能力(知育)支援担当:原田 園長代理

ゲーム・積木・おはじき・ひも通しなどの知育遊びを取り入れています。色分けをしたり、数えたり、積木を組立てたり、空間認知の面白さや不思議さに興味を持ったり、創造性や集中力も育んでいます。白組では、話し合う・楽しむ・よく見る・考える・助け合う・書くといった一連の活動を取り入れ、子ども達の協調性、主体性を伸ばす取組を支援しています。

⑤音楽表現担当:相原 リーダー

運動会に向けて、白組は、練習を重ねたピアニカにも自信が付いて太鼓やシンバルを使ったリズム打ちの楽しさも知りみんなで息を合わせ合奏しながらの行進に挑戦しています。

青組、黄組は、演奏に合わせポンポンを振ってリズム表現を楽しんでいます。子どもたちは、練習の成果を運動会で発揮し、保護者の方に見てもらうことを楽しみにしています。

⑦園芸栽培支援担当:米田園長 野菜づくりを自分たちで植える野菜を決め、土作りから植え、育てて、収穫して、調理して食べるまでの一連の過程を体験する中で、植物や生命の不思議さ大切さを感じています。夏野菜最後は、ピーマン、パプリカ、なすを収穫しました。白組はひまわりを、青組は朝顔を「どれが種かね」「この茶色が種よ」と種を採取して観察カードを作りました。冬に向けては、白菜、キャベツ、人参、ブロッコリーの苗をお金を支払って買ってきて、植え付けました。

【桃組 2歳児 18人】担任:今田

自分から進んで鞄から巾着袋やハンカチを出して、自分のロッカーに鞄をかけることができるようになりました。

トイレトレーニングでは、個人差があり紙パンツで過ごす園児の方が多いです。園児同士のかかわり合いが深まるにつれて、互いの思いがぶつかりケンカやトラブルも多くなってきました。

簡単な言葉で、自分の思いを伝え、相手の気持ちに気付けるように園児への声掛けや仲立ちをしています。簡単な決まりや約束を守る遊びも取り入れて園児同士のふれあいを育みます。

秋になり屋上や広い公園で遊具を介して思い切り身体を動かし、運動機能や平衡感覚が高まるよう支援していきます。

【黄組 3歳児 19人】担任:島崎

園での生活の流れをしっかり理解して、朝の準備や活動の準備、身の回りの整理整頓なども自分のことは自分でできるようになってきました。ハサミや色鉛筆などの道具の使い方も上手に使い「表現」できるようになっています。

遊びでは、カルタやいす取りゲームなどのルールのある遊びを好むようになり、きまりを守りながら遊んでいます。

時には、自分の思いが相手にうまく伝えられず、涙が出ることもありますが、保育士が仲立ちをして「こうしてみよう」と少しずつ話し合いで解決できることも増えてきました。

自分でできることが増えて自信につながっています。子どもたちの「やりたい気持ち」を大切に「できた」成功体験を重ねられる機会を作り、自信が膨らんでいくように支援していきます。また、自分の思いを「ことば」で主張したり、「創作や運動」などで自由に表現できるようにも支援します。

③運動機能支援担当:蒲生 幼児主任

目標を高く持ち、運動への意欲が高まるよう、跳び箱、巧技台、鉄棒、縄跳びなど色々な運動遊びに取組みました。

少しずつできることが増えることが自信につながり、もっと上を目指そうとする向上心が感じられます。

運動会では、練習の成果を発揮して達成感を感じ新たな目標に向かって困難に取組む力が育まれるよう支援します。

⑧言語支援担当:石崎 乳児主任

園外活動をとおして、木の実や葉など持ち帰り、それぞれ感じた秋をクラスのみんなの前で発表する機会を作ります。

また、春から進めてきた発表会の劇にも本格的に取組んでいきます。劇から連想する言葉を子どもから聞き取り、一番できたことも盛り込んで「せりふ」を考えました。読書の秋、絵本の読み聞かせも充実させて創造力を高めています。